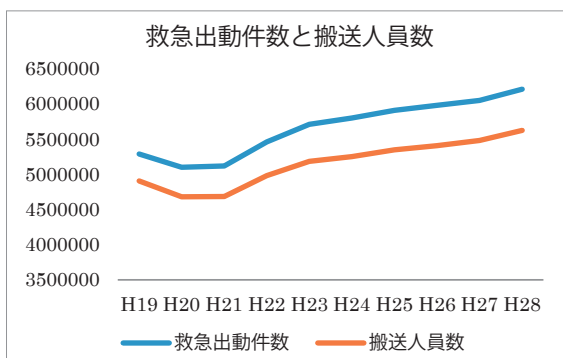


寄贈救急自動車事業について

救急企画室

1. はじめに

平成28年中の救急出動件数は、621万3,628件、搬送人員数は562万4,032件となり、ともに過去最多を更新しました。救急出動件数の推移を見ると10年前に比べ17%の増加となっています。一方、救急自動車の増加は6%、救急隊数の増加は5%にとどまり、増大する救急出動に対応する十分な救急隊、救急自動車の台数の確保には至っていません。



図：救急出動件数と搬送人員数
(平成29年版 救急・救助の現況調べ)

救急自動車の更新は、各自治体で行っていますが、高規格救急自動車への更新は財政状況により難しく、自治体によっては、修理や消耗品の交換等で更新を延長し対応することを余儀なくされている実情もあります。このような状況において、寄贈救急自動車事業が有効に活用されています。

2. 寄贈救急自動車事業とは

消防庁では、毎年、高規格救急自動車を全国に配備することで、各地域における救急業務の高度化、救急業務体制の更なる充実を図ることなどを目的に、アステラス



写真：平成29年度 阿賀野市消防本部寄贈式（新潟県）

製薬株式会社、一般社団法人 日本自動車工業会及び一般社団法人 日本損害保険協会の3団体に対し寄贈先となる消防本部の推薦を行っています。

上記3団体から約50年間に渡り全国の消防本部に救急自動車の寄贈が続けられており、これまで寄贈いただいた救急自動車の合計は2,659台となりました。

3. 総務大臣感謝状の贈呈

平成30年3月7日に行われた自治体消防制度70周年記念式典では、約50年間に渡り全国の消防本部に救急自動車を寄贈していただいている3団体の救急業務への多大な貢献に対し、野田総務大臣から感謝状の贈呈が行われました。



写真：自治体消防制度70周年記念式典

4. 今年度の寄贈救急自動車事業

今年度も、引き続きこの寄贈救急自動車事業を継続していただき、3団体から全国の消防本部に高規格救急自動車が寄贈される予定です。

5. おわりに

社会貢献の一環として、高規格救急自動車を寄贈いただくことにより、救急業務の高度化、救急業務体制の充実強化、住民が安心して生活できる地域社会の実現等に大きく寄与しています。今後も、全国各地において寄贈していただいた救急自動車が活躍し、地域住民の方々の安心と救急業務の更なる充実と発展に資するものになることを期待しています。

問い合わせ先

消防庁救急企画室 三島、石井、名達
TEL: 03-5253-7529